



2020年11月13日

各 位

会 社 名 ダントーホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役会長 加 藤 友 彦
 (コード番号5337 東証第1部)
 問合せ先 取締役総務部長 前 山 達 史
 (TEL (06)4795-5000)

営業外収益、営業外費用の計上及び 2020年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年12月期第3四半期連結累計期間において、営業外収益及び営業外費用を計上することとなりましたので、お知らせいたします。また、2020年8月31日に公表いたしました2020年12月期の通期業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の内容

第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金等を支給申請し、「雇用調整助成金」として36百万円を営業外収益に計上いたしました。

2. 営業外費用の内容

第3四半期連結累計期間において、外国為替相場が円高に推移したことにより90百万円の為替差損を営業外費用に計上いたしました。

3. 業績予想の修正

(1) 2020年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,000	△ 250	△ 270	280	9円44銭
今回修正予想 (B)	6,190	△ 670	△ 700	540	18円20銭
増減額 (B - A)	190	△ 420	△ 430	260	
増減率 (%)	3.2	—	—	92.9	
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	6,143	△ 485	△ 484	△ 292	△9円87銭

(2) 修正の理由

2020年7月に連結子会社化しましたSRE Mortgage Alliance Inc. について、営業体制が整備され、通期連結業績においては売上高400百万円、営業利益230百万円、経常利益230百万円の寄与が想定されます。しかしながら、タイル事業及び不動産事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、今後も引き続き厳しい状況で推移するものと想定されます。

当第3四半期連結累計期間の業績及び上記を踏まえ、売上高は当初予定を上回るものの、営業利

益は 420 百万円、経常利益は 430 百万円下回る見込みであります。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2020 年 11 月 4 日に公表しました「特別利益（投資有価証券売却益）及び特別損失（投資有価証券売却損）の計上に関するお知らせ」に記載の特別利益 800 百万円、特別損失 120 百万円の計上により、前回予想を上記のとおり修正いたしました。

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上